

「十戒」

<序論>

聖書で「十戒」と記されているところは、ヘブライ語では「十の言葉、十の事柄」（出エジプト記 34:28、申命記 4:13、10:4）という意味で、ギリシャ語の訳（七十七訳）にもそのまま訳され、それが今の「十戒」の語源となっています。

出エジプト記 20 章と申命記 5 章に「十戒」が記されています。それを比較してみると、いくつかの違いがあるが、その一つの例として第四戒を見ると、出エジプト記には、安息日を聖別する理由が、神様が六日間創造のみ業を成し、七日目に休まれたことから来ています（20:11）。しかし、申命記では、エジプトの国での奴隷の生活から神様の御導きによって出されたことを思い起こすための安息日になっています（5:15）。

そのようなことから、モーセが神様から受け取った十戒はより簡単な内容であったのが、編集者の手を経ているうちに今の形になっているのだと考えられています。

ともあれ、十戒は、荒野の旅をつづけたイスラエルの民に与えられた神様の戒めとして、イスラエルの信仰と生活を守り、神様の約束の地に入るための心の支えとなりました。そして、イスラエルの信仰と生活の規範として受け継がれているのです。

石に刻まれたということは永遠の徴を意味します。

十戒は、神様ご自身が選んでくださったイスラエルと契約を結び、その秩序として与えられたものです。そして、これはイスラエルの民だけではなく、福音によって生きるすべての人に対する契約であり、秩序でもあるのです。

イスラエルに御手を伸ばしてご自分との交わりを回復させようとなされた神様は、新約の時代を生きる私たちにも独り子イエスを通して、私たちを神様ご自身のもとへ引き寄せてくださいました。「律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。（ヨハネ 1:17）」と書いてあるように、律法は福音に反するものではなく、イエス・キリストによって成就されました。そのゆえ、十戒は、主イエス・キリストによって救われた者としての感謝の応答として私たちに与えられているのです。神様の栄光のために生きるキリスト者の生活の指針であるのです。そして、神様に喜ばれる生き方を求める者には、この十戒も、神様の恵みであるのです。

十戒を通して、愛と恵みに満ちた神様の私たちへの要求を学んでいきましょう。

*共に祈りましょう。

- ・「十戒」を通して表された神様の愛と恵みをより深く知ることができますように。
- ・「十戒」を通して、私たちとも契約を結んでくださる神様に感謝しましょう。
- ・「十戒」に命じられている神様の愛の要求に応じて生きることができますよう祈りましょう。